

平成19年10月17日

ダム守同心情報連絡票(第16号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 湖のギャングはおいしかった。

全号でもお知らせしましたが「秋を釣ろうー湖のギャングを食べよう」→「外来魚駆除釣り大会」を10月8日(体育の日)に、ハイヅカ湖畔の才の峠(さいのたお)広場にて地元「ハイヅカ湖歓交協会」などが主催する「ハイヅカ湖畔の森の小さな秋祭り」と連携して開催しました。

朝から準備をしましたが、どしゃ降りに雷注意報。どうなることやらと心配していましたが、午後からの釣り大会では絶好の晴天に恵まれ、「小さな秋祭り」から約30名の方の参加を頂きました。お年寄りから子供まで幅広い年齢層の方が「大物・大漁」を狙ってハイヅカ湖に釣り竿を向けました。初心者の方も多くおられました。ギャング達(オオクチバス・ブルーギル)を釣り上げるたびに「釣れた」「大きい」などと歓声が響いていました。

また、釣り大会とあわせて「ハイヅカ湖畔の森カフェレストラン」でオオクチバス・ブルーギルを素材として使った「ソテー(オリーブオイル和え)(トマトソース)(クリームソース合え)」「南蛮漬け」の料理教室・試食会が開かれ、参加者から「おいしい」「自分でもつくってみたい」の声が聞かれました。タラやキンググリップ等の海の白身魚のようにあっさりしておいしくいただきました。

釣り大会以降は回収に協力いただく人が非常に増えました。

持ち帰っておいしく食べたとの声も良く耳にするようになりました。

灰塚ダム管理支所ではこれからもハイヅカ湖の環境保全のため、地域の皆さまとともにいきいきと取り組んでいきたいと考えています。



2. いよいよ灰塚ダムでも水源地域ビジョンを検討。

全国の国土交通省、水資源機構が管理しているダム水源地域を対象に「水源地域ビジョン」が策定されています。

この「水源地域ビジョン」は、ダムを活かして水源地域の活性化に取り組み、流域の連携と交流を通じて、流域全体の発展を目指すことを目的としたものです。

ダム水源地域の住民の方々を中心として、地方自治体とダム管理者など多様な主体が共同で、基本方針や、各実施主体の自主的な行動計画を検討・とりまとめがなされ、様々な活動が全国各地で展開されています。

灰塚ダムとハイヅカ湖を活かして、よりいきいきとした地域を目指そうと行動する多様な主体が情報の共有、協働することによって笑顔と楽しさが増すように、灰塚ダムでも「水源地域ビジョン」について検討を始めたいと思っています。

灰塚ダム管理支所が事務局として、いろいろな方のご意見をうかがったり、会議のお世話などさせていただこうと考えています。また、計画策定のサポートを、いろいろな地域で計画策定の実績をもつ株式会社建設環境研究所が行います。

計画策定に関する情報は事務局として随時発信し、情報の共有化に努めていきたいと思っています。

いきいきとし、笑顔と楽しさがあふれる計画を目指して、計画づくりも「いきいき」、「笑顔」、「楽しさ」があふれるよう努力したいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

3. フォトコンテストが開催されます。

ハイヅカ湖周辺の活性化を図ることを目的として、「フォトコンテスト」の準備が着々と進められています。

ハイヅカ湖の環境保全、利用促進が図られるよう、灰塚ダム管理支所も後援をさせていただく予定としています。

募集期間は11月～12月の予定ですが、詳細が決まり次第お知らせします。

4. ウェットランド情報

涼しくなり、野鳥観察もしやすくなって来たように思います。

ミサゴのダイブなども時々見るようになります。[別紙参照]

10月1日、12日には三次市立安田小学校の環境学習で利用いただきました。

た。[別紙トピックス参照]

10月28日には「安田ふれあい秋の集い」の一環として「歩け歩けウェットランド」でウォーキングとウェットランド見学が行われる予定です。[別紙参照]

灰塚ダム管理支所もフレントリ館でご案内するよう予定しています。

これから周辺の花々が紅葉すれば散策やドライブなどの道すがら、また渡り鳥到来とともに観察などで沢山の方々に訪れていただけるのではと楽しみにしています。

フレントリ館の液晶モニターを更新するため取り外しており、鳥の映像等がご覧いただけない状態となっていますが、新たなモニターの手配をしているところですので今しばらくご容赦下さい。

4. 本号の最後に

急な冷え込みで三次では雲海が見られるようになり、台風シーズンも終わりを告げたように感じます。

大きな出水が全く無く少し拍子抜けという感じもありますが、洪水や濁水での被害もなく本当に良かったと思います。

寒さは苦手なたちなので、去年の暖冬と今年の夏の猛暑を考えると冬が少し心配ですが、雪が降るまでの間、紅葉や秋の実りを楽しみながら渡り鳥が来るのを待ちたいと思います。

地域の情報等ありましたら、PRさせていただきたいと思いますので是非お寄せ下さい。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544